

Japanese man In NY (ニューヨーク生活)



Photo : The Chimpanzees “EL CHIMPO GRANDE”

《芸人・イン・ニューヨーク》

ニューヨークにはミュージシャンをはじめ、ダンサー、歌手、俳優、アーティスト等、留学生として渡ってくる10~20代の日本人も多く、日本である程度活躍して名前が売れてから海を渡ってくる日本人も結構いた。数年間勉強した後に帰国する人もいれば、アメリカン・ドリームを夢見て頑張り続ける人たちもいて、それはいつの時代も変わらないだろう。

今回はそんな中で、自分がニューヨークに住んでいた時期にニューヨークで観た芸人さんの話。最近では、世界中で大きな話題となった“PPAP”のピコ太郎をはじめ、ニューヨークに渡ると宣言以降かなり時間がかかったが、漸く渡ったピースの綾部祐二等が芸能ニュースを賑わせていた。そんな中

でも、渡辺直美は独特の才能とセンスでかなり頑張り、大成功とは言わないまでも、芸人根性を見せてくれたと思う。

彼等の話題や活躍は素直に素晴らしいと思うが、YouTube や Instagram、Twitter 等、インターネットをはじめ、SNS の力があってこそだと思う。自分がニューヨークに住んでいた時は、インターネットはおろかパソコンもほんの一部の人が仕事や勉強で使っていた程度で、携帯電話やスマートフォンが登場する前の時代だったから今とは全く異なる時代、今よりもかなりアナログな世界だったといえよう。ニューヨークでの情報源はテレビかラジオ、新聞か雑誌しかなかった。

そんな中で思い出すのは、1991年に日本での芸能活動休止を宣言し、それまで出演していた全てのレギュラー番組を降板して単身ニューヨークに渡った野沢直子だ。ニューヨークで籍を入れた旦那さんのボブと1993~95年頃に猿の着ぐるみを着て“ザ・チンパンジーズ (The Chimpanzees)”というパンクっぽいバンドを結成して活動していたのだが、1994~95年頃にニューヨークの小さなライブハウスで行った単独公演を観に行った。野沢直子がメイン・ヴォーカルで、旦那さんのボブがギタリストの4人編のバンドだったと記憶しているが、ちょうどリリースしたばかりのアルバム『EL CHIMPO GRANDE』も購入した。今なら即刻放送禁止かお蔵入りとなりそうなタイトルだが、自主制作で主にライブ会場等で発売していた筈だ。公演後に野沢さんと一緒に写真を撮ってもらった記憶があるが、野沢さんといえば、ボブさんとの間に誕生した真珠ちゃんは当時1~2歳だった筈だが、今や真珠オークリヤーの名前でプロのリングに上がり、大注目の女子格闘家として大活躍中だ。

もう一組、当時ニューヨークで公演を観たのは“TOKYO SHOCK BOYS”。日本では“電撃ネットワーク”として、ド派手で過激なパフォーマンスで知られていた4人組だったが、海外では発音が難しいため、あのデーブ・スペクターが命名したとされる“TOKYO SHOCK BOYS”と名乗っていた。1997年にニューヨーク・オフブロードウェイに進出して、3ヶ月で71公演という日本人初の快挙を成し遂げたほど、現地でもあの過激な芸が話題となり、自分が観た会場も超満員だった。

パフォーマンスをメインとする以外、ニューヨークで芸人として活躍するには“英語”という大きな壁があるが、ミュージシャン同様に日本の芸人さんの中でもニューヨークをはじめ、アメリカで大活躍する逸材の登場に期待したい。最後に思い出したが、場所はニューヨークではなかったものの、個人的には2006年に日本での活動を休業し、LAに“筋肉留学”した筋肉芸人なかやまきんに君は笑えた。